

主要産地における令和2年産水稻の生育状況等について 第13報 (8月6日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和2年8月6日)

道府県	区分	生育状況等		(参考)
		育苗・田植進行状況・生育状況等(自治体等公表資料の抜粋)	技術・防除・気象等関連公表資料(自治体、気象台等公表資料の抜粋)	
北海道	(生育)	<p>【生育状況(8月1日現在)】</p> <p>(全道) 生育は、平年並に進んでいる。(北海道農政課 8月4日付)</p> <p>(空知) 生育は平年並である。出穂期：7月27日。(空知総合振興局 8月4日付)</p> <p>(石狩) 出穂は平年並に推移している。(石狩振興局 8月4日付)</p> <p>(後志) 遅延は早1日。出穂期：7月28日。(後志総合振興局 8月4日付)</p> <p>(胆振) 生育は平年並。(胆振総合振興局 8月4日付)</p> <p>(日高) 生育は平年並である。(日高総合振興局 8月4日付)</p> <p>(渡島) 生育は概ね順調であるが、曇天により出穂がやや遅延している。出穂期：8月1日。(渡島総合振興局 8月4日付)</p> <p>(檜山) 生育は概ね平年並で推移。出穂始：7月26日。(檜山振興局 8月4日付)</p> <p>(上川) 生育の遅延は、平年並に推移している。出穂期：7月24日。(上川総合振興局 8月4日付)</p> <p>(留萌) 差数は少ないが、生育は平年並に進んでいる。(留萌振興局 8月4日付)</p> <p>(オホーツク) 7月中下旬の低温曇照により、出穂はやや遅れたが、生育は平年並である。出穂期：7月26日。(オホーツク総合振興局 8月4日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>北海道地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p>	<p>主要品種に大きな変動はないものの、産地毎に違った新品種「えみまる」が増加すると見込まれる。</p> <p>(農林水産省 3月17日)</p> <p>(以下同じ)</p>
		<p>【8月5日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水稻出穂状況は、県全体で65%となっており、平年より17ポイント高かった。 ・ 県全体の出穂最盛期は、平年より1日早い8月5日であった。 <p>(青森県 8月6日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>東北太平洋側は、8月12日頃からかなりの高温。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並が高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>「つがるロマン」「まっしぐら」の2品種で9割を占める品種構成で、近年収量水準の高い「まっしぐら」が増加傾向にあり、令和2年産も同様の傾向になるものと考えられる。</p>
岩手	(生育)	<p>【7月27日現在】</p> <p>(1) 農業研究センター(北上) 全品種とも、草丈は平年より長く、差数は平年並みから多く、葉数は平年よりやや少なく、葉色は平年よりやや濃くなっている。また、「あきたこまち」は7月25日(平年より2日遅い)に、「銀河のしずく」は7月26日(平年より2日遅い)に減数分裂期に達した。</p> <p>(2) 東北農業研究所(軽米) 「しむてっこ」では、草丈、葉数は平年並で、差数は平年より少なく、葉色は平年よりやや濃くなっている。また、7月25日(平年より3日遅い)に減数分裂期に達した。</p> <p>(岩手県農業研究センター 7月28日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>東北太平洋側は、8月12日頃からかなりの高温。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並が高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっており、「つや姫」が増加傾向にある。</p>
		<p>【出穂状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8月3日現在、水稻作付見込面積の15.4%で出穂が確認されている。県全体では8月2日に全出穂期(県作付見込面積の5%で出穂)に達した。(宮城県 8月4日付) <p>【7月20日現在】</p> <p>(大河原) 生育は停滞気味、南部平坦の中生産の出穂期は平年(7月31日)よりも2日程、前年(8月1日)より1日程遅い見込み。(大河原農業改良普及センター 7月21日付)</p> <p>(仙台) 草丈・差数とも一部のほ場を除き前年を上回る状況。調査結果からは7月中旬の低温による生育の停滞は見られない。(仙台農業改良普及センター 7月21日付)</p> <p>(大崎) 草丈・差数は平年並～やや上回ったが、生育がやや停滞したため葉数が平年よりやや少なく、葉色は濃い傾向。(大崎農業改良普及センター 7月21日付)</p> <p>(美里) 低温と日照不足の影響で生育は停滞傾向。(美里農業改良普及センター 7月21日付)</p> <p>(栗原) 生育調査(移植)生育状況(7月10日現在) 草丈：平年並、差数：やや少ない、葉色：濃い、葉数：幼穂長・平年より少ない(栗原農業改良普及センター 7月22日付)</p> <p>(石巻) 草丈は平年並、差数は「ひとめぼれ」では平年並み、「ササニシキ」では平年より少なくなっている。葉色(SPAD値)は平年より濃くなっている。平年に比べて幼穂の伸長はやや遅れている。(石巻農業改良普及センター 7月22日付)</p> <p>(気仙沼) 管内の生育調査においては、葉数は前年並、差数は前年並からやや多くなっており、生育は順調に進んでいる。(気仙沼農業改良普及センター 7月20日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>東北太平洋側は、8月12日頃からかなりの高温。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並が高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっており、「つや姫」が増加傾向となっている。「南えみのり」「たてばり」はやや増加傾向にある。</p>
秋田	(生育)	<p>(秋田) 7月22日時点での生育は、草丈、差数、葉色ともほぼ平年並で推移。出穂期にさしかかっている圃場が一部みられる。(8月3日付)</p> <p>(本水) 減数分裂期を迎え、生育の早いほ場では走り穂が見られる。(7月31日付)</p> <p>(雄勝) 田植えが比較的早く始まった圃場では出穂している。(7月31日付)</p> <p>(鹿角) 6月25日の水稻生育定時点調査では、草丈39.4cmで長く(平年比106%)、㎡当たり差数は491本で多く(平年比127%)、葉数は9.0葉でやや多く(平年並+0.2)、葉色はSPAD値43.4で濃い(平年比95%)。(7月3日付)</p> <p>(北秋田) 6月下旬以降、日気温差が小さい日が続き、差数増加が抑制され生育は平年並み。</p> <p>(病害) 多くの圃場で幼穂形成期に入っている。(7月10日付)</p> <p>(平鹿) 7月15日現在の水稻定時点調査(あきたこまち11か所)では、草丈67.3cm(平年比106%)、差数526本/㎡(同比102%)、葉数11.0葉(同並+0.1葉)となっている。(7月17日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>8月10日ごろからかなりの高温の可能性。</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並が高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はないものの、「ひとめぼれ」「ゆめぼけ」等の多収性品種が増加傾向となり、一定のウエイトを占めてきた。</p>
		<p>(酒田地場) 【出穂の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8月5日現在の出穂状況は、生育診断用「はえぬき」で9月3日(平年8月4日)、「雪若丸」で8月5日(平年8月4日)となっており、概ね平年並。「つや姫」「コンシカリ」の出穂期は8月10日頃(平年8月10日)と見込まれる。(酒田農業技術普及課 8月5日付) <p>(南東置賜) 早生～中生産品種は出穂が始まっている。(置賜総合支庁農業技術普及課 7月30日付)</p> <p>【7月20日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平田部「はえぬき」の生育は、草丈、差数、葉数は平年並み、葉色は、平年よりやや濃い状況となっている。 ・ 農業総合センターの幼穂調査によると、出穂期は概ね平年並と予想している。低温・日照不足の影響が懸念される。 ・ 「つや姫」の生育は、草丈、差数、葉数は平年並み、葉色は、平年より濃い状況となっている。予想出穂期は、農業総合センター(山形市のりが丘)では8月7日頃(平年8月7日)、水田農業研究所(鶴岡市藤島)では8月9日頃(平年8月10日)であり、概ね平年並と見込まれている。 ・ 「雪若丸」の生育は、指標値と比べ、草丈・葉数は並み、差数は多く、葉色は濃い状況となっている。出穂は、農業総合センター(山形市のりが丘)で8月3日頃(平年8月2日)、水田農業研究所(鶴岡市藤島)で8月3日頃(平年8月2日)と概ね平年並の見込み。(山形おしき際立つ!米づくりプロジェクト本部 7月20日付) <p>(北村山) 平田部の出穂期は平年並みの見込み。「はえぬき」8月6～10日頃、「つや姫」8月9～13日頃、「雪若丸」8月5～8日頃。(村山総合支庁北村山農業技術普及課 7月22日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>8月10日ごろからかなりの高温の可能性。</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並が高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【注意報】(いもち病)</p> <p>向こう1か月の天候は、期間のはじめは平年に比べ曇りや雨の日が多いと予想されており、今後、上位葉での発生増加及び穂もとの発生が懸念される。(山形県病害虫防除所 7月22日付)</p>	<p>「はえぬき」「つや姫」「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっており、新品種「雪若丸」は増加傾向にある。</p>
福島	(生育)	<p>(郡山) 【作況は場および肥料・農業展示場の生育状況(7月22日調査)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全般的に、幼穂長は平年より短く、調査時点で予想される出穂期は平年よりやや遅い見込み。(郡山県農作物生産対策協議会 8月5日付) <p>【福島県農業総合センター生育概況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作柄解析試験(慣行栽培、5月15日移植)の各品種の7月21日現在の幼穂形成期は、ひとめぼれ、天のつぶでは平年より3日遅い7月16日、コンシカリでは幼穂が未確認。(郡山県農作物生産対策協議会 8月5日付) <p>(南会津) 6月下旬及び7月上旬は降雨が続いたが、気温が平年並み、また夜温が高く推移したため、平年並みの生育となった。幼穂形成期についても平年並み。(南会津農林事務所 7月31日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>東北太平洋側は、8月12日頃からかなりの高温。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並が高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>「コンシカリ」「ひとめぼれ」を中心とする品種構成で、近年「天のつぶ」が増加傾向となっている。</p>

<p>茨城</p>	<p>生育状況等</p> <p>【水稻の生育状況（7月20日現在、水戸市）】 (5月1日移植・対平年遅速) 「あきたこまち」2日早い、「ふくまる」1日早い、「コシヒカリ」2日遅い。 ・出穂期は、「あきたこまち」が7月14日で平年より2日早く、「ふくまる」が7月16日で平年より1日早かった。 7月20日における「コシヒカリ」の主穂幼穂長は176.4mmで、幼穂長から予測される出穂期は7月27日。 (5月11日移植・対平年遅速) 「コシヒカリ」5日遅い。 ・主穂幼穂長は18.7mmで、幼穂長から予測される出穂期は8月5日。(茨城県農業総合センター-農業研究所作物研究室 7月22日付)</p> <p>(生育) 【水稻の生育状況（7月16日現在、龍ヶ崎市）】 (4月24日移植・対平年遅速) 「あきたこまち」1日遅い、「ふくまる」1日遅い、「コシヒカリ」2日遅い。 ・出穂期は、「あきたこまち」で7月12日、「ふくまる」で7月16日であり、高品種とも平年より1日遅い。今後気温が平年並に推移した場合、幼穂長から予測される出穂期は、「コシヒカリ」で平年より2日遅い7月24日。 (5月7日移植・対平年遅速) 「あきたこまち」6日遅い、「コシヒカリ」7日遅い。 ・今後、気温が平年並に推移した場合、幼穂長から予測される出穂期は、「あきたこまち」で平年より6日遅い7月24日、「コシヒカリ」で平年より7日遅い8月3日。(茨城県農業総合センター-農業研究所水田利用研究室 7月20日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 関東甲信地方は、8月12日頃からかなりの高温。(気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【病害虫発生予測注意報】 曇雨天が続いたため、穂もちの多発生が懸念される。(茨城県病害虫防除所 7月31日付)</p>	<p>「コシヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「ふくまる」がやや増加傾向にある。</p>
<p>栃木</p>	<p>(下部葉) 【早稲・水稲生育診断（小山市）】(7月20日調査)の生育調査結果 ・5月3日移植の「コシヒカリ」では、7月24日に収穫を迎えた。(昨年7月26日)。(下部葉農業振興事務所 7月30日付)</p> <p>【普通稲・水稲生育診断（栃木市首川城内町)】(7月20日調査)の生育調査結果 ・5月23日移植の「とちぎの星」の出穂期は、8月13日頃と予測される。(下部葉農業振興事務所 7月30日付)</p> <p>(生育) 【7月20日生育調査】 (1) コシヒカリ ・出穂は平年よりやや遅れる見込みとなっている。 (2) とちぎの星 ・草丈はやや高く(平年比104%)、葉数は少なく(91%)、葉齢は平年より0.4少ない。葉色は平年より0.2淡く、生育診断値(葉色×葉数)は平年比86%となっている。なお、葉もちが確認されている。(栃木県 7月27日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月31日～8月31日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 関東甲信地方は、8月12日頃からかなりの高温。(気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p>	<p>「コシヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。なお、オリジナル品種「とちぎの星」がやや増加傾向にある。</p>
<p>千葉</p>	<p>(生育) ・7月中旬以降、気温が低く、日照が少なかったため、「ふさおとめ」「ふさこがね」では登熟の遅れ、「コシヒカリ」「粒すけ」では出穂の遅れが生じている。 ・(成熟期) 4月20日植え「ふさおとめ」が8月13日頃から、「ふさこがね」は8月20日頃から、「コシヒカリ」は8月26日頃からと予測される。 ・また「コシヒカリ」は出穂にバラつきが見られる。 (千葉県 7月28日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 関東甲信地方は、8月12日頃からかなりの高温。(気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p>	<p>「コシヒカリ」「ふさこがね」「ふさおとめ」を中心とする品種構成であり、近年「ふさこがね」が増加傾向にある。</p>
<p>新潟</p>	<p>・水稲の早生品種では登熟中期になっており、「コシヒカリ」は今週、ほぼ全県で収穫を迎える。 「新之助」も早い地域では8月7日頃から収穫を迎える状況。(新潟県 8月4日付)</p> <p>(生育) (巻) 「コシヒカリ」草丈：やや長、葉数：並、葉齢：並、出穂期：平年並。(巻農業普及指導センター 7月30日付) (新潟) 「コシヒカリ」ほ場開差が大きく、草丈は「やや長」、葉数、葉齢は「並」(新潟農業普及指導センター 7月30日付) (三条) 「コシヒカリ」出穂期は平年より1日早く8月9日頃と予想(5月連休田植えの場合)。(三条農業普及指導センター 7月30日付) (長岡) 「コシヒカリ」草丈：並、葉数：並、予想出穂期：8月4日(5月10日植えを想定)。(長岡農業普及指導センター 7月30日付) (新潟) 「コシヒカリ」出穂期は前年より2日遅く、平年より1日早く見込み。(新潟農業普及指導センター 7月30日付) (南魚沼) 「コシヒカリ」草丈：やや長、葉数：やや少、葉齢：やや多(新発田農業普及指導センター 7月31日付) (岩船) 「コシヒカリ」草丈：並～やや長、葉数：やや多、葉齢：並、出穂期：1日程度遅い(村上農業普及指導センター 7月30日付) (柿崎) 稲茎は日照不足及び多雨により長草・軟弱傾向となっており、倒伏が心配される。(柿崎農業普及指導センター 7月30日付) (魚沼) 長雨と日照不足により草丈が伸び、倒伏が心配される状況。早生品種は、出穂期～穂揃い期となっている。「コシヒカリ」はまもなく出穂となる(十日町農業普及指導センターほか 7月30日付) (十日町) 指標値に比べ、草丈：並、葉数：並、葉齢：並。(魚沼農業普及指導センター 7月30日付) (上越) 「コシヒカリ」の出穂期は、平年より2日程度早まる予想(5月10～15日の田植では、8月1日頃の見込み)。 (糸魚川) 「コシヒカリ」現時点で穂ばらみ期を迎えたほ場も見られる。全体的に、生育は概ね順調。現時点の予想では、出穂期は平年並の見込み。(糸魚川地域振興局農林振興部 7月30日付) (佐渡) 生育は概ね目標値だが、ほ場開差は大きくなっている。(佐渡農業普及指導センター 7月30日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】 北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p>	<p>「コシヒカリ」「こしいふま」を中心とする品種構成で、近年「コシヒカリ」が減少傾向にある。また、県では新品種「新之助」の作付拡大を推奨している。</p>
<p>富山</p>	<p>【7月20日生育観測】 (1) コシヒカリ 平年に比べて、草丈、葉数、葉色、葉齢は並みとなっている。 出穂期は、今後、平年並みの気温で推移した場合、平年並みの8月2日頃と見込まれる。 (2) てんこもり 平年に比べて、草丈、葉色は並み、葉数はやや少なく、葉齢は遅れている。 出穂期は、今後、平年並みの気温で推移した場合、平年より1日遅い8月5日頃と見込まれる。 (3) てんたかく 5月2日移植の「てんたかく」の出穂期は、平年より4日早い7月16日となった。 成熟期は、今後、平年並みの気温で推移した場合、平年より4日早い8月21日頃と見込まれる。 (4) 富富富 近年に比べて、草丈、葉数、葉齢、葉色は並みとなっている。 今後、気温が平年並みに推移すると、出穂期は、近年より1日遅い8月4日頃と見込まれる (富山県農業技術課 広域普及指導センター 7月20日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】 北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p>	<p>「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、高温登熟でも品質が安定している「てんこもり」「富富富」が増加傾向にある。</p>
<p>石川</p>	<p>【本田の生育7月28日調査】 「コシヒカリ」 (出穂期) 加賀地域では7月25日～8月2日と、平年に比べ3日早い～並で、前年に比べ1日早い～4日遅い見込み。 能登地域では7月29日～7月31日と、平年に比べ2日～7日早く、前年に比べ2～3日遅い見込み。 (平米あたり葉数) 既に収穫期を迎えている圃場が多いことから、穂数は平年並に確保される見込みである。 「ひやくまん殺」 (出穂期) 加賀地域で8月3日～12日と近年及び前年に比べ2日～6日遅い見込み。 能登地域では8月8日～10日と近年及び前年並～2日遅い見込み。 (平米あたり葉数) 目標穂数(360本/m²)は確保される見込みである。(石川県農林総合研究センター 7月29日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】 北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p>	<p>「コシヒカリ」及び「ゆめみづほ」を中心とする品種構成であるが、近年県オリジナル新品種の「ひやくまん殺」が増加傾向にある。</p>
<p>福井</p>	<p>・日照不足の影響で穂体は軟弱となり、一部では葉もちの発生も見られている。 (福井県農業総合指導推進会議 7月15日付)</p> <p>(生育) 【7月9日調査】 ・長雨の影響により、いもち病の発生が見られる。 ・移植のコシヒカリは、早いところで7月10日 前後に幼穂形成期を迎えている。 (水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 7月10日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】 北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【注意報】(穂もち(中輪生)) 発生量は平年、前年より多い。 (福井県農業試験場 7月27日付)</p>	<p>「コシヒカリ」「ハナエチゼン」を中心とする品種構成であるが、近年「コシヒカリ」が減少傾向、「あきさかり」が増加傾向にある。なお、新品種である「いちほまれ」も増加傾向にある。</p>
<p>長野</p>	<p>・豊科定点圃場では、あきたこまちは7月26日、美山錦は7月30日に収穫を迎えた。コシヒカリは8月2日に収穫期で、8月6日に収穫期を迎える予定。 ・現地の平田では、5月初旬の早生品種(あきたこまち、美山錦等)は、7月20～23日頃に出穂期を迎えた。5月初旬のコシヒカリは7月末に出穂期を迎え始めた。このため生育進度は、早生品種で平年並～2日早、コシヒカリで3日早いと思われる。 (松本農業農村支援センター 8月3日付)</p> <p>(生育) 【標高348m須坂市八重森の農業試験場における水稲生育状況(7月20日現在)】 ・移植後40日の生育は、いずれの品種もおおむね平年並みとなった。 ・幼穂形成期は「あきたこまち」で平年より2日遅く、「コシヒカリ」で平年並み、「風さやか」で1日早かった。 【標高1017m高村の資料試験場における水稲生育状況(7月20日現在)】(長野県農業試験場 7月20日付) ・移植後50日調査では、低温、降雨の影響で生育はやや停滞したと思われる。 ・幼穂形成期は「きりりん」、「ゆめしなの」で平年より2日早く、「あきたこまち」で2日遅かった。(長野県農業試験場 7月20日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 関東甲信地方は、8月12日頃からかなりの高温。(気象庁)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p>	<p>「コシヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県オリジナル品種として「風さやか」の導入を推進している。</p>

生育状況等			
滋賀	<p>【農業技術振興センター水稲作況調査（7月20日時点）】</p> <p>（5月11日移植）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「みずかがみ」「コシヒカリ」とも草丈は平年並、茎数は少ない。 <p>（生育）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「みずかがみ」の出穂期は、7月上旬～中旬の気温が低く、平年より2日遅い7月24日頃の見込み。 <p>（滋賀県農業技術振興センター 7月22日付）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は日本海側で、ほぼ平年並。太平洋側で平年並か少ない見込み。日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁大阪管区気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>近畿地方は、8月12日頃からかなりの高温。 （気象庁大阪管区気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁大阪管区気象台）</p>	<p>「コシヒカリ」「キヌヒカリ」「日本晴」を中心とする品種構成であるが、近年「コシヒカリ」「キヌヒカリ」が減少傾向となっている。高温多湿性に優れた「みずかがみ」を増加する計画である。</p>
兵庫	<p>（県南部）</p> <p>極早生品種の「キヌヒカリ」「どんとこい」では、草丈が平年並～やや短く、茎数はかなり多い。一方、普通期の「ヒノヒカリ」「日本晴」「きぬむすめ」では、草丈は平年に比べてやや短い～平年並み、茎数は「ヒノヒカリ」「日本晴」でかなり少なく、「きぬむすめ」でかなり多い。</p> <p>（県北部）</p> <p>（生育）</p> <p>草丈は平年並で、茎数が非常に少ない。出穂は「コシヒカリ」で平年よりやや早くなる見込みである。</p> <p>（兵庫県 8月4日付）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は日本海側で、ほぼ平年並。太平洋側で平年並か少ない見込み。日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁大阪管区気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>近畿地方は、8月12日頃からかなりの高温。 （気象庁大阪管区気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁大阪管区気象台）</p>	<p>「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「キヌヒカリ」「山田錦」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の作付推進を図っている。</p>
岡山	<p>（生育）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イネの茎数は、平年よりやや少ない傾向である。 <p>（岡山県 8月5日付）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁広島地方気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>中国地方は、8月12日頃からかなりの高温。 （気象庁広島地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁広島地方気象台）</p> <p>【病害虫発生予察注意報】</p> <p>イネいもち病（葉いもち、穂いもち）多い。 （岡山県病害虫防除所農林水産省 7月29日付）</p>	<p>「アケボノ」「ヒノヒカリ」「あきたこまち」「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。近年「きぬむすめ」が増加傾向となっている。</p>
広島	<p>（生育）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁広島地方気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>中国地方は、8月12日頃からかなりの高温。 （気象庁広島地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁広島地方気象台）</p> <p>【病害虫発生予察情報注意報】</p> <p>トビロウカが多い（広島県 7月30日）</p>	<p>「あきさかり」が増加傾向にある。</p>
愛媛	<ul style="list-style-type: none"> ・本年の早期水稲の出穂時期は、やや早い～平年並みであった。向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並であり、成熟期については平年並と予想される。 <p>（平年の成熟期 4月20日移植） 「あきたこまち」 8月9日頃 「コシヒカリ」 8月14日頃</p> <p>（愛媛県 7月28日付）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か少なく、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁高松地方気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>四国地方は、8月12日頃からかなりの高温。 （気象庁高松地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁高松地方気象台）</p>	<p>「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」「にこまる」を中心とする品種構成であるが、近年、高温多湿性に優れた「よさ恋美人」が増加傾向にある。「南国そだち」は減少傾向。</p>
高知	<p>（早期稲 7月報）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・極早生品種（南国そだち、よさ恋美人）の収穫はほぼ終了したが、梅雨末期の降雨の影響で平年に比べると遅れた。コシヒカリについてはほぼ平年並に収穫が始まる見込みである。 <p>（普通期稲 7月報）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月の天候不順の影響で生育がやや遅れ味のほ場も見られるが、生育はおおむね順調で、出穂は8月中旬頃になる見込みである。 <p>（高知県病害虫防除所長 8月6日付）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か少なく、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁高松地方気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>四国地方は、8月12日頃からかなりの高温。 （気象庁高松地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁高松地方気象台）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早期栽培では「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成であるが、近年、高温多湿性に優れた「よさ恋美人」が増加傾向にある。「南国そだち」は減少傾向。 ・普通栽培では「にこまる」が増加傾向にある。
福岡	<p>【早生水稲（夢つくし、コシヒカリ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月中下旬「コシヒカリ」「夢つくし」の収穫時期は、平年よりやや遅く8月17～27日頃の見込み。 ・降雨が多いため、出穂から穂ぞり期の防除が遅れている。 ・穂数は平年より少なく、出穂後の日照不足の影響により、登熟歩合が低下し、作柄はやや不良の予想。 <p>（生育）</p> <p>【普通期水稲（夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月の低温、寡照の影響で、草丈は高く、茎数は少なく、軟弱徒長となっている。 ・生育は、平年に比べ5日程遅れ、潅水の被害を受けた地域はさらに遅れている。 ・6月上中旬「夢つくし」の出穂期は、平年よりやや遅い8月12～15日頃の見込み。 ・暖冬の影響と多雨によりスクミリンゴガイの被害が多い。葉いもちの発生は少ない。トビロウカは過去10年間で最も多く、注意報が7月14日に発表されている。 <p>（福岡県農林業総合試験場 7月31日付）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁福岡管区気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>九州北部地方は、8月12日頃からかなりの高温。 （気象庁福岡管区気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁福岡管区気象台）</p>	<p>「ヒノヒカリ」「夢つくし」「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「ヒノヒカリ」が減少傾向、「夢つくし」「元気つくし」が増加傾向となっている。なお、県では今後、新品種「爽りつくし」の拡大を推奨している。</p>
熊本	<p>（生育）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁福岡管区気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>九州北部地方は、8月12日頃からかなりの高温。 （気象庁福岡管区気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁福岡管区気象台）</p>	<p>「ヒノヒカリ」「森のくまさん」「コシヒカリ」を中心とする品種構成に、大きな変化はない。</p>

生育状況等			
宮 崎	<p>・全額数は平年並、登熟はやや不良、作柄はやや不良の見込。(農林水産省 7月28日付)</p> <p>(生育・作柄)</p> <p>・(7月中旬)普通期水稲は分けつ期。(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 7月22日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】 九州南部地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 九州南部地方は、8月12日頃からかなりの高温。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 九州南部地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<p>「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「み系358」への作付誘導が進められている。</p>
鹿 児 島	<p>・全額数はやや少ない、登熟は平年並、作柄はやや不良の見込。(農林水産省 7月28日付)</p> <p>(生育・作柄)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】 九州南部地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】 九州南部地方は、8月12日頃からかなりの高温。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 九州南部地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<p>「なつほのか」及び「あきほなみ」が増加傾向である。</p>

注1：国及び地方自治体、地方自治体の出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：令和2年8月6日 15時時点での取り纏め。
注3：更新箇所は赤字で示した。

引用資料:

農作物の生育状況 8月1日現在(北海道 8月4日)、
農作物生育状況 8月11日現在(北海道空知総合振興局 8月4日)、
農作物生育状況 8月1日現在(北海道石狩振興局 8月4日)、
農作物の生育状況 8月1日現在(北海道後志総合振興局 8月4日)、
農作物の生育状況 8月1日現在(北海道胆振総合振興局 8月4日)、
農作物の生育状況 8月1日現在(北海道日高振興局 8月4日)、
農作物の生育状況 8月1日現在(北海道渡島総合振興局 8月4日)、
農作物の生育状況 8月1日現在(北海道檜山振興局 8月4日)、
農作物の生育状況 8月1日現在(北海道上川総合振興局 8月4日)、
農作物生育状況調査の概要 8月1日現在(北海道留萌振興局 8月4日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 8月1日現在(北海道オホーツク総合振興局 8月4日)、

水稲出穂状況(8月5日現在)(青森県 8月6日)、
令和2年度水稲生育定期調査結果No.6(7月27日現在)(岩手県農業研究センター 7月28日)、
令和2年度水稲の出穂状況について(8月3日現在)(宮城県農政部みやぎ米推進課 8月4日)、
令和2年度産南稲作情報(第6号)(大原農業改良普及センター 7月21日)、
仙台稲作情報2020(第7号)(宮城県仙台農業改良普及センター 7月21日)、
令和2年度美里地区の稲作情報第7号(宮城県美里農業改良普及センター 7月21日)、
令和2年度大崎稲作情報第4-2号(宮城県大崎農業改良普及センター 7月21日)、
栗原の稲作通信令和2年第6号(宮城県栗原農業改良普及センター 7月22日)、
稲作情報(vol.6)(宮城県石巻農業改良普及センター 7月22日付)、
令和2年度産気仙沼・南三陸稲作情報第8号(宮城県気仙沼農業改良普及センターほか 7月22日)、
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」http://www.e-komachi.jp/ 8月3日)、
米づくり技術情報第10号(山形おいしき際立つ!米づくりプロジェクト本部 7月20日)、
雪若丸技術情報No.8(山形おいしき際立つ!米づくりプロジェクト本部ほか 7月20日)、
東なおきたま米づくり情報No.10(置賜農業技術普及課7月30日)、

酒田・飽海日本一米づくり情報臨時号(酒田農業技術普及課 8月5日)、
北村山のおいしい米づくり情報稲作だより第9号(北村山農業技術普及課 7月22日)、
「こおりやまの米」通信 vol.6(郡山市農作物生産対策協議会 8月5日)、
主要農作物の生育・出荷状況(南会津農林事務所 7月31日現在)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 7月22日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 7月20日)、
下都賀管内水稲技術資料No.6(下都賀農業振興事務所 7月30日)、

令和2(2020)年度水稲生育診断予測事業速報No.5(栃木県 7月27日)、
水稲の生育と当面の対策第6報(千葉県 7月28日)、
水稲の生育状況と今後の管理対策(臨時号)(新潟県 8月4日)、
稲作速報No.8(新潟農業普及指導センター 7月30日)、
新発田地域水稲生育速報No.8(新発田農業普及指導センター 7月31日)、
水稲生育速報No.8(巻農業普及指導センター 7月30日)、
FAX稲作情報No.11(三条農業普及指導センター 7月30日)、
水稲生育速報(長岡農業普及指導センター 7月30日)、
南魚沼産コシヒカリ生育速報 No.7(7/30調査)(南魚沼農業普及指導センター 7月30日)、
コシヒカリ生育情報(魚沼農業改良指導センター 7月30日)、
コシヒカリ・こいしづき生育速報(7月30日)(上越農業普及指導センター)、
稲作管理情報第11号(柏崎農業普及指導センター 7月30日)、
令和2年度糸魚川売れる米づくりコシヒカリ生育情報No.7(糸魚川地域振興局 7月30日)、
令和2年度稲作生育速報No.7(佐渡農業普及指導センター 7月30日)、
十日町地域稲作生育速報(十日町農業普及指導センターほか 7月30日)、
R2岩船米生育速報(村上農業普及指導センター 7月30日)、
TACS情報第9号(富山県 7月20日)、

令和2年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-9号)(石川県農林総合研究センター 7月28日調査)、
稲作情報No.11(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 7月10日)、
令和2年作物技術普及情報第10号(松本農業農村支援センター 8月3日)、
農業試験場水稲試験圃の生育状況(令和2年)(長野県農業試験場 7月20日)、
令和2年度水稲生育診断情報No.4(滋賀県農業技術振興センター 7月22日)、
令和2年度兵庫県農業気象技術情報No.4(8月情報)(兵庫県 8月4日)、
令和2年度病害虫発生予報第5号(岡山県病害虫防除所 8月5日)、
今月の天候と農作業(8月)(愛媛県 7月28日)、
令和2年度病害虫発生予察7月報(高知県病害虫防除所 8月6日)、
福岡県の主な農産物の生産情報(福岡県 7月31日現在)、
令和2年度病害虫発生予報第3号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 7月22日)、

令和2年度農作物有害動物発生予察情報注意報第4号(山形県病害虫防除所 7月22日)、
病害虫発生予察注意報第4号(茨城県病害虫防除所 7月31日)、
農作物病害虫発生予察注意報第2号(福井県農業試験場 7月27日)、
令和2年度病害虫発生予察注意報第4号(岡山県病害虫防除所 7月29日)、
令和2年度病害虫発生予察情報注意報第2号(広島県 7月30日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(7月30日札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(7月30日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(7月30日気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(7月30日新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(7月30日大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(7月30日広島地方気象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(7月30日高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(7月30日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(7月30日鹿児島地方気象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(7月22日札幌管区気象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(7月22日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(7月22日気象庁)、
北陸地方こう3か月の天候の見通し(7月22日新潟地方気象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(7月22日大阪管区気象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(7月22日広島地方気象台)、
四国地方こう3か月の天候の見通し(7月22日高松地方気象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(7月22日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(7月22日鹿児島地方気象台)、

高温に関する早期天候情報(仙台管区気象台、気象庁、大阪管区気象台、広島地方気象台、高松地方気象台、福岡管区気象台、鹿児島地方気象台 8月6日14時30分)、

令和2年度水稲の西南暖地における早期栽培等の作柄概況(7月15日現在)(農林水産省 7月28日)

令和2年度水稲の10a当たり平年収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月17日)